

ホーム名：グループホーム宙豊中					
自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスとしての意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所理念として、「わたしたちは地域の方々を大切にし敬意をもっておひとりおひとりに寄り添ってお守りします」を掲げ、地域密着を常に職員の人達に理解してもらえるよう話している	併設施設と共通した事業所理念を、職員一人ひとりが、共有化し、日々の介護で実践できるよう管理者が、職員に必要な応じて適切にアドバイスをされている。	事業所の理念にもとづき、利用者への思いを伝えるような、グループホームとしての理念も職員間で考えてみられてはどうか。
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	運営推進会議に民生委員などに出席して頂いており、貌の見える関係を築いている。今後、地域の集まりに参加を検討している	併設施設と共同で、運営推進委員会を通じて、地域の民生委員、自治会、地域包括の方々や利用者のご家族、市役所担当者が定期的に交流し、関係を深められておられる。	地域との連携をより深めるため、利用者と職員が地域のイベントに参加する機会を増やして行かれることを期待したい。
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	実施していないが、地域包括センターと連絡を密にして、前向きに取り組んでいきたい		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、地域の方に当ホームを理解して頂き、また意見を頂いている	併設施設と共同で、2カ月に1回、運営推進会議が開催されている。会議では、事業所の運営状況報告が行なわれ、これに対し、地域の方々から意見が出され、事業所側でサービス向上に向けた検討が行なわれている。市役所担当者も出席され、市のバックアップが受けられる状況となっている。	事業所側は、理事長も出席、挨拶されており、運営推進会議の位置づけと重要度が高いことを地域の方、家族、市役所担当者が感じることができると思われる。継続されることを期待したい。
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら協力関係を築くように取り組んでいる。	入所希望者や見学者について紹介を頂いたり、困ったときにはご指導頂いている	市役所担当者が、運営推進会議に出席され、事業所や地域の状況を把握されており、事業所側と市役所側との報告、連絡、相談が緊密に連携できる状況になっている。	事業所と市役所との良好な関係は、利用者と家族の安心感にもつながるかと思われる。継続して、市役所との協力関係を維持されていくことが望まれる。
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束しないケアに取り組んでいる	社内研修、外部研修などから身体拘束の知識を深め、職員は常に介助方法の話し合いを持ちながら、身体拘束をしないケアを心がけている	管理者を中心にチームとして、職員一人ひとりが、利用者に対し、拘束しないケアを考え、対応されている。家族に対しては、安全安心との両立も心がけて、施設設備面での対応やケアでの対応を説明されている。	拘束しないケアの実践と実現には、職員の日々の選択と判断が重要になると思われる。継続して管理者を中心にチームとして、取り組んで行かれることが望まれる。
7		○虐待防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所ないでの虐待が見逃ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	内部研修、外部研修などから、高齢者虐待の知識を身に付け、虐待の無い介護に努めている		

8	<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見人制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している</p>	<p>入所申し込み時、家族や関係者に説明をおこなっている。</p>		
9	<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約または改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>入退所時は、必ず家族と充分話し合いをおこなっている。</p>		
10	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>玄関にご意見箱を設け、いつでも感じたことを書いて頂けるようにし、管理者も来訪者になるべく声かけするよう心がけている</p>	<p>利用者と家族は、運営推進会議や、家族会イベント、市役所から派遣される介護相談員による相談等を通じて、運営に関する意見を反映できる場がたくさん設けられている。</p>	<p>今後も継続して、利用者、家族からの意見を聞かれる時間を大切にされ、利用者、家族との信頼関係を深めて行かれることが望まれる。</p>
11	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、それらを反映させている</p>	<p>いつでも話が出来る様、職員と話す時間を多くとる様、心がけている</p>	<p>ユニット会議等運営に関連する会議や日々の報告、連絡、相談を連絡ノート等を活用し、職員の意見は、管理者に連携されている。又、管理者と職員は、タイムリーにコミュニケーションが取れるような信頼関係も築けている。</p>	<p>管理者は、職員の育成にも力を入れられており、職員の意見に耳を傾ける管理者候補を多数育成して行かれることに期待したい。</p>
12	<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている</p>	<p>昇給・賞与にて、職員の実績を評価し、向上心をもって働いてもらえるよう、話しをする時間を設けている</p>		
13	<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際の力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>施設内研修・外部研修への参加機会を確保している。</p>		
14	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている</p>	<p>お誘いがあれば参加する様心がけているが、積極的な取り組みはまだ行えていない</p>		

II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

15	<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>入所の際、すでに本人からの明確な要望を聞ける状態で無い場合が多いため、家族からの要望等を聞き、周りからの情報収集を十分に行い本人の安心を考えた関係づくりに努めている。</p>		
16	<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	<p>家族等の不安や要望等に耳を傾け家族にも安心して頂けるような信頼関係を築く努力をしている</p>		
17	<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	<p>聞き上手になり、本人や家族・関係者の気持ちを大切にする様努めている</p>		
18	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	<p>本人の一番活躍していた頃の話しを導き出し、喜びを大きく共にする様心がけている</p>		
19	<p>○本人と共に過ごし支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	<p>家族などの来訪された時は、居室ばかりにおらず、リビングで他の利用者や職員と共に過ごして頂く様努めている</p>		
20	<p>○馴染みの人や場と関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしていた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	<p>疎遠であった人々には少しでも密になる様、又、密着していた家族には距離をおいて見られる様、話しかけたり接したりしている</p>	<p>馴染みの人や家族との関係において、距離をおいて見てもらうことによる新たな関係と気づきも大切にされておられる。</p>	<p>距離をおいて見てもらうことによる関係継続性も大事なことと思われる。この取り組みを継続されることに期待したい。</p>
21	<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている</p>	<p>当施設は横並びにユニットがあり、気のあった人同士が行き来している。また、ボランティア開催時は合同で参加している</p>		
22	<p>○関係を断ち切らない取り組み</p> <p>サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている</p>	<p>必要に応じて相談にのらせてもらったり、ハガキなどで近況報告を頂いている</p>		

Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	日常生活の中で何気ない言動にしっかり耳を傾ける様に意識し、ご本人様からの聞き取りが困難な場合はご家族様・ご友人様より、性格や生活歴を聞き取り、希望・意向の把握に努めています。センター方式の1部を使用し居室にて一対でゆっくりと聞き取りを行っています。	日常のケア以外に本人や家族から聞き取る時間を設けて、センター方式を活用しながら、本人の思いや暮らし方の希望把握に努めておられる。	職員は、言動の奥にある利用者の思いや意向の把握を大事にされておられる。この取り組みを継続されることが望まれる。
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努める	センター方式の1部を利用し、ご本人様・ご家族様より情報収集し、スタッフ間で情報の共有を行っています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝・夕の申し送りやカンファレンスにて話し合いの場を設けています。又、日々の記録と共に短期目標の更新時には、ケアチェック表にて現状の把握を行っています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフに個別の対応方法や見たり聞いたりした情報をアンケートにて収集や共有を行っています。又、月1回の会議の中でカンファレンスを行い、月1回モニタリングを行って、現状に即した介護計画を作成しています。何故こう言う気持ちか等、過去の背景から個々に職員に伝えています。	介護計画は、月1回の見直しが行なわれている。見直しにあたり、管理者と職員が、日々、利用者一人ひとりの変化の把握に努めておられる。日々の変化の把握に努めておられるため、急な介護計画見直しにも対応できる状態となっている。	利用者の現状に即した介護計画が作成されていると思われる。継続して、利用者の日々の変化の把握に取り組んでいかれることが望まれる。
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録や連絡ノートにて、情報の共有を行い、月1回のモニタリングを活かし介護計画の見直しを行っています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスにとらわれない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	ご本人の意向に沿った目標設定を行い、ご本人がされる事、又、「取り組むよ」と言ってくれた内容、家族の支援（外出・外泊・外食）などを入れ込み、訪問リハ必要な方には、Drの指示にて医療にて行っています。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	近隣には大型マンション・コンビニや高校、他の介護施設があり、人通りが多く、散歩時に挨拶などができる環境です。地域で活動されているボランティアによるギター演奏などに来てもらっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	ご本人・ご家族様の同意を得た上で、提携している往診医（内科往診月2回・精神科往診月2回・歯科往診週1回）に来てもらっている。又、その他を希望される方は家人付添いの元、入所前からのかかりつけ医に受診してもらっている。	利用者のこころの問題にも向き合うため、専門医と連携し、こころのケアにも力を入れられておられる。併設施設と連携した看護体制として、看護師を配置されており、職員の医療面でのサポート体制も充実している。	こころの問題に専門医と連携して、取り組んでおられ、心と体が絡む変化を介護計画やケアサービスに生かすことができると思われる。これは今後とも継続して取り組んで行かれることを期待したい。

31	<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるよう支援している</p>	<p>協力医療機関と相談しながら支援している。職場内の看護師に相談も行っている。今後、訪問看護との連携も考えている。</p>		
32	<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	<p>入院した際には面会に行き、利用者様の状態把握に努め、家族様の相談にのるよう努めている</p>		
33	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や、終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所される前に、当ホームでの、できる範囲のことは家族様に説明させて頂いている。重度化した場合には、再度、家族様や病院関係者と話し合いをしている</p>	<p>重度化や終末期状態となった場合は、医療機関、家族、事業所内看護師と連携し、チームとして利用者へできる範囲での対応を行なっている。</p>	<p>母体機関が、総合病院のため、今後の重度化や終末期に向けた取り組みにおいて、緊密に連携した様々な対応に期待したい。</p>
34	<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>マニュアルを常備しており、すべての職員が実践できるよう努めている</p>		
35	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>防火訓練は、年2回行っている。今後、自治会に協力をお願いしていこうと思っている。</p>	<p>併設施設と共同で、年2回の災害訓練を実施中。運営推進会議等を活用し、地域の方々への参加を案内されておられる。</p>	<p>地域との協力体制の構築が今後の課題になるかと思われるが、地域の避難施設の1つとして活用して頂く等検討されてはどうか。（できるところからいうことで、例えば、災害支援型自販機設置を検討してみる等）</p>

IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員1人ひとりがよく注意し、対応している	管理者と職員がチームとして機能し、利用者のプライバシー保護と確保に努めておられる。	経験とノウハウを管理者と職員がチームとして共有されて取り組んでおられるように見受けられる。今後も継続してチームとして取り組んで行かれることが望まれる。
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	聞くことを大切にし、利用者様が、ゆっくり思いが話せる様導き、納得できる様支援している		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	入浴・昼寝・レクリエーションなど、利用者様1人ひとりのペースに合わせてながら支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	何を着るか本人に聞きながら、対応している		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	お手伝いのできる利用者様は、野菜の皮むきやテーブル拭きなど、できる範囲でして頂いている	施設内の調理室で、調理専門の職員が調理された食事が提供されている。献立表以外に利用者の健康状態等により、臨機応変に対応できる範囲で、献立を変更して対応されている。献立には、3時のおやつも記載され、施設内で食レクも行ない、食べることへの楽しみも工夫されておられる。	食事を楽しむことの様々な取り組みをされておられるが、地域の方との交流や併設施設の方との交流を通じた食事会も検討されてはどうか。(例えば、昼食を地域の方にも提供される等)
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、集会に応じた支援をしている	栄養士によるカロリー計算のもと、献立・調理している。食事量・水分量は時間・量を記録し、少量の場合は補食して頂いている		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、口腔ケアをして頂いている。できない利用者様は、職員が介助している		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄パターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄チェック表にて記録しており、時間をみて、声かけ・誘導を行っている	管理者と職員がチームとして機能し、チェック表にもとづき、利用者の羞恥心や不安に配慮しながら、排泄支援を行なっておられる。	これも経験とノウハウが大事になるかと思われる。継続して、チームとして取り組んでいかれることが望まれる。
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便も記録し、便秘の方へは、果物の摂取・運動を心がけている		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	曜日・時間は一応決めているが、利用者様が納得いかない場合は、納得できる様支援している	利用者の羞恥心や恐怖心や負担を職員は理解された上で、必要に応じて、入浴タイミングの変更等にできるだけ応じておられる。	入浴は、利用者一人ひとりのこれまでの生活習慣やその時々状態や要望で、決められたタイミングで入浴されないケースもあり、職員の負担感も大きいかと思われるが、継続して利用者の意向にそった入浴の支援をされることが望まれる。

46	<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している</p>	<p>個別で対応しており、眠れない場合などはお話しし、リラックスして頂ける様にしている</p>		
47	<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や要領について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている</p>	<p>内服薬については、説明文を個人記録に添付しており、薬の変更等は、管理日誌・連絡ノートで職員に伝えている</p>		
48	<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている</p>	<p>洗濯たたみや、食器洗いを毎日して頂いたり、毎日の体操を楽しみされている方もおられる。</p>		
49 18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるよう支援している</p>	<p>季節によっては、散歩を取り入れている。花見・遠足などにいったり、外食などの希望がある場合は、できるだけ対応しており、家族様にもご協力頂いている</p>	<p>施設は、閑静な住宅地に立地しているため、日常的に散歩等の外出が安全安心に支援できる環境となっている。</p>	<p>外出において、利用者の意向と家族の意向が異なるケースもあるかと思われるが、外出することによる本人の新たな気づきや楽しみが出来る可能性もあるのではないかと思われる。地域のイベントに参加してみる等検討してはどうか。</p>
50	<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>お金の所持は施設として、原則お断りしている。今後の検討課題。</p>		
51	<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>ご希望があった時には、電話を取り次いだり、年賀状・暑中見舞などを書いて頂いている</p>		
52 19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節の花を飾ったり、お雛様・クリスマスツリーなどの飾りつけたりし、季節を感じてもらえる様にしている</p>	<p>ユニットごとに異なる飾りつけとなっており、利用者一人ひとりの感覚や価値観を大切にされておられる。</p>	<p>職員の方々、日々、心地のよい共有空間づくりに努めておられるが、利用者と同世代の地域の方々からの気づきも参考に共有空間づくりを支援してもらうことを検討されては、どうか。</p>
53	<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>ソファ・椅子にて、1人または気の合った人同士で過ごして頂けるようにしている</p>		
54 20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>契約時に家族様と話しをし、利用者様に安心して暮らして頂けるよう工夫している</p>	<p>利用者の居室は、利用者一人ひとりがその人らしく自分の部屋として過ごせるような空間となっている。職員は、利用者や家族の意向に配慮しながら、居室づくりに取り組んでおられる。</p>	<p>継続して、利用者が自分の部屋として過ごせるよう取り組んで行かれることが望まれる。</p>
55	<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室・トイレには、大きく表札をあげ、わかりやすくしている</p>		

V アウトカム項目		
56	職員は利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聞いており信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての利用者 ②利用者の3分の2くらいと ③利用者の3分の1くらいと ④ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねてきている	○ ①ほぼ毎日のように ②数日に1回程度 ③たまに ④ほとんどいない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○ ①大いに増えている ②少しずつ増えている ③あまり増えていない ④全くない
66	職員は生き生きと働けている	○ ①ほぼ全ての職員が ②職員の3分の2くらいが ③職員の3分の1くらいが ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
68	職員からみて利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ ①ほぼ全ての家族が ②家族の3分の2くらいが ③家族の3分の1くらいが ④ほとんどできていない